

平成 20 年 3 月 11 日

各 位

会 社 名 株式会社 イーウェーブ
代表者名 代表取締役社長 滝澤 正盛
(コード番号 3732 大証 ヘラクレス グロース)
問合せ先 取締役管理部担当 清水 陽子
TEL 06-4705-3901

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は平成 19 年 5 月 15 日決算発表時に公表いたしました平成 20 年 3 月期（平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日）の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 20 年 3 月期業績予想の修正（平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日）

【連結】

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 9,000	百万円 523	百万円 485	百万円 266	円 銭 11,295.12
今回修正予想(B)	8,708	605	607	266	11,295.12
増減額 (B-A)	△292	82	122	0	—
増減率(%)	△3.2	15.7	25.2	—	—
前期(平成 19 年 3 月期)実績	8,582	467	471	246	10,539.71

【個別】

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 6,300	百万円 392	百万円 405	百万円 222	円 銭 9,426.75
今回修正予想(B)	6,469	539	592	308	13,078.56
増減額 (B-A)	169	147	187	86	—
増減率(%)	2.7	37.5	46.2	38.7	—
前期(平成 19 年 3 月期)実績	5,738	376	393	210	8,775.89

2. 修正の理由

(連結) 売上高については、システム機器販売事業の売上高減少の影響で当初予想に満たない見込みとなりました。一方、利益については、システム開発事業が堅調に推移し、首都圏を中心に一括案件が増加し、プロジェクトの収益性が向上した結果、営業利益、経常利益ともに当初予想を上回る見込みとなりました。しかしながら、サブプライム問題の影響により保有する有価証券の時価が下落し、減損処理による有価証券評価損の計上が見込まれるため、当期純利益では当初予想どおりの見込みとなりました。

(個別) システム開発事業の Web ソリューションを中心に大型案件の受注が堅調に推移し、売上高は当初予想を若干上回る見込みとなりました。利益については、前述記載の通りシステム開発事業における収益性の向上により、当初予想を大幅に上回る見込みとなりました。

※上記の予想は現時点で入手可能な情報に基づいたものであり、実際の業績は今後さまざまな要因により異なる結果となる可能性があります。

以 上